

第21回日本臨床医療福祉学会 採択演題一覧（時間・会場順）

10月14日（土）発表プログラム

※スケジュールは多少前後する可能性があります。

8月18日（金）版

時間	会場	セッション名	登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
8:45 ～ 9:35	A会場	一般演題 リハビリ関連	10030	0-01	脳卒中急性期患者の早期離床がもたらすADL向上について	発表6分 質疑応答2分	
			10029	0-02	当院におけるTKA術後在院日数とリハビリテーション評価の関係		
			10005	0-03	動画を用いたリハビリテーション見学の検討		
			10047	0-04	通いの場参加高齢者の身体的プレフレイルの関連因子について		
			10042	0-05	訪問リハビリ利用者の転倒要因について		
			10049	0-06	ダイバーショナルセラピーへの取り組み		
9:40 ～ 11:00		シンポジウム 自動車運転	外部登録	10059	S1-01	認知機能低下を指摘され診断書提出命令書を持参した当院の高齢運転者の現状	キーノートレクチャー20分 発表10分 質疑応答2分
				10060	S1-02	自動車運転再開支援 当院の取り組み	
				10056	S1-03	南東北福島病院における自動車運転再開支援について	
				10062	SP-01	社会制度が使えず退院支援に苦慮した1例	
14:20 ～ 15:20		特別企画 症例検討会		10064	SP-02	医療チームが倫理的ジレンマを抱えながら退院支援を行った壮年期がん患者の1例	発表10分 ディスカッション10分
				10065	SP-03	限られた社会福祉資源の中で終末期を迎える30歳代の膠芽腫患者の1例	
				10011	S2-01	退院支援地域連携バスの作成と運用後の課題	
15:30 ～ 16:30		シンポジウム 連携（チーム・地域）		10000	S2-02	脳神経外科専門病院における新型コロナウイルス感染症患者療養隔離解除基準について	発表10分 質疑応答2分
				10061	S2-03	急性期病院における転院支援 ～MSMの視点から、患者家族への関わり方について考える～	
				10063	S2-04	多職種連携で悪性神経膠腫患者のQOL向上を目指す取り組み ～栄養の観点から～	
				10024	S2-05	チーム医療における心理的安全性の評価と取り組み	
				10034	0-07	脳卒中患者の経口摂取に向けた看護師介入による摂食嚥下機能の向上について	
8:45 ～ 9:45	一般演題 摂食・嚥下、栄養関連		10015	0-08	回復期リハビリ病棟患者への当院での食事提供の工夫	発表6分 質疑応答2分	
			10058	0-09	回復期リハビリテーション病棟におけるKTBCを活用した取り組み		
			10048	0-10	アイソカルファイバーを使用している効果的な排便の誘発		
			10022	0-11	脳梗塞後長期人工呼吸器管理による廃用、気管切開、頸椎カラーの阻害要因により嚥下機能障害を呈した1例		
			10012	0-12	非機能性下咽頭腫瘍摘出術後に重度嚥下障害をきたし、その後著明な改善を認めた1例		
			10040	0-13	介護老人保健施設におけるターミナル期の関わり -食べたい気持ちに寄り添うために-		
			10026	0-14	サポート付賃貸集合住宅（L-GUB）入居者の人生最終段階における意識調査 -第2報-		
			10053	0-15	介護期間の長期化した高次脳機能障害者・遠征性意識障害者の家族・介護者の介護不安と家族会の役割について		
			10016	0-16	洪水・土砂災害に関する在宅支援事業所としての取り組みに対する報告 ～避難行動支援及び意識調査の実施～		
			10018	0-17	みどり苑の地域貢献 ～TEAM GREENSの活動紹介～		
9:50 ～ 10:30	一般演題 地域支援		10043	0-18	新百合ヶ丘総合病院歯科口腔外科を受診した高齢者の口腔顎顔面外傷の臨床的検討	発表6分 質疑応答2分	
			10019	0-19	新型コロナウイルス感染者患者の対応から得たこと		
			10020	0-20	COVID-19 隔離中の看護師によるリハビリ介入		
			10006	0-21	隔離対応中のベッドサイド検査の増加と安全・快適にこなすための工夫 -心臓超音波検査編-		
			10023	0-22	手術を受ける患者に対するせん妄予防-術前訪問実施による効果の検討-		
			10037	0-23	放射線治療患者への皮膚ケアについての検討 -ケアマップを用いた早期の皮膚ケアの取り組み-		
			10004	0-24	褥瘡対策の見直し ～褥瘡ゼロを目指した当病棟の取り組み～		
			10041	0-25	職員意識の変容の成果 褥瘡改善のためのポジショニング理解を通して		
			10014	0-26	当院における外来診療予約制導入後の効果検証		
			10027	0-27	新型コロナウイルス感染症蔓延時における病院職員把握の工夫		
10:35 ～ 11:00	一般演題 感染対策		10003	0-28	脳神経外科におけるタスクシフト 診療看護師参入の効果	発表6分 質疑応答2分	
			10054	0-29	使用不能になった車椅子を回収し、リユースに繋げる法人内の取り組み		
			10045	0-30	抗がん薬投与時のインシデントを減少させるための化学療法委員会の取り組み		
			10017	0-31	療養型病院における脳神経外科外来の役割		
			10035	0-32	院内他職種との退院支援連携体制構築へ向け -院内勉強会を開催して～		
			10013	0-33	回復期リハビリテーション病棟の現状と転機 ～コロナ禍を経験して～		
8:45 ～ 9:10	一般演題 退院支援		10050	0-34	PADにより医療処置を必要とした1人暮らし高齢者への退院支援	発表6分 質疑応答2分	
			10007	0-35	再発脳動脈瘤に対する直達治療		
			10052	0-36	Ceftioxoneによる偽胆石性胆嚢炎に対し、保存的加療では根治せず内視鏡治療を要した1例		
			10055	0-37	特発性膈間膜血腫に対して動脈塞栓術を施行し、膈管温存し得た1例		
9:15 ～ 9:40	一般演題 治療		10039	0-38	「看取り介護に対する職員の意識変化」～フラワーアセスメントを活用して～	発表6分 質疑応答2分	
			10044	0-39	介護業務におけるストレスマネジメントへの取り組み介護現場のストレスの把握とストレスの軽減		
			10038	0-40	「フィッシュ哲学」でイキキ働く ～ビビビした職場を目指して～		
			10057	0-41	当院の自殺企図患者の臨床的特徴と医療スタッフの対応困難感		
			10021	0-42	介護老人保健施設におけるライフヒストリーカルテ導入に向けた職員の意識調査		
			10002	0-43	急性心筋梗塞後回復期リハビリテーション病棟で復職に向けて運動耐容能改善を図った1例		
			10033	0-44	新型コロナウイルス感染症によるADL能力低下の予防を図り早期自宅退院に至った症例に対する理学療法の実践		
15:00 ～ 15:40	一般演題 働き方改革・職場環境		10009	0-45	回りハから老健を介して在宅復帰に至った症例	発表6分 質疑応答2分	
			10010	0-46	在宅生活を見据えた介入の重要性 ～追跡調査からの一考察～		
			10046	0-47	高次脳機能障害を呈した患者のセルフアウェアネスに着目し、屋外活動自立の目標を達成した1例		
			10032	P1-01	コロナ禍・病棟再編における救急・手術室部門での、教育指導者への看護管理者の関わりと教育担当者の変化		
			10008	P1-02	入院時のFBS総得点から退院時における移動様式の予測 ～当院における脳血管患者のカットオフ値～		
			10051	P1-03	福島県北圏域における高次脳機能障害支援室の役割について		
			10001	P1-04	通所リハビリテーション利用者へアンケートを実施して		
15:45 ～ 16:25	一般演題 リハビリ症例報告		10025	P2-01	病初期から積極的栄養強化と運動療法を実施した筋萎縮性側索硬化症患者の筋機能及び運動能力変化とその経過	発表4分 質疑応答1分	
			10028	P2-02	20年にわたり、状態維持できている症例		
			10036	P2-03	コロナ禍における利用者と家族との繋がりが ～絵手紙を通して見えてきたこと～		
			10002	P2-04	20年にわたり、状態維持できている症例		
			10036	P2-03	コロナ禍における利用者と家族との繋がりが ～絵手紙を通して見えてきたこと～		
14:20 ～ 14:55	ポスターセッション	ポスターセッション1	10032	P1-01	コロナ禍・病棟再編における救急・手術室部門での、教育指導者への看護管理者の関わりと教育担当者の変化	発表4分 質疑応答1分	
			10008	P1-02	入院時のFBS総得点から退院時における移動様式の予測 ～当院における脳血管患者のカットオフ値～		
			10051	P1-03	福島県北圏域における高次脳機能障害支援室の役割について		
		10001	P1-04	通所リハビリテーション利用者へアンケートを実施して			
		10025	P2-01	病初期から積極的栄養強化と運動療法を実施した筋萎縮性側索硬化症患者の筋機能及び運動能力変化とその経過			
		10028	P2-02	20年にわたり、状態維持できている症例			